

【評価者：弁護士 小宮憲 印】



質問項目	評価	評価者からの意見など
学校の教育理念は教職員へ浸透している	A:できている B:どちらかと言えばできている C:どちらかと言えばできていない D:できていない	学校教育目標に掲げる児童像に近づけるため、明確な教育目標が示され、小中高一貫校としてのミッションが意識され、教職員にも共有されている。今年度は新任教員への教育理念の浸透をさらに強化することで、全教職員が一体となった教育活動の展開が期待できる。
学校の教育理念や教育内容は保護者へ浸透している	A:できている B:どちらかと言えばできている C:どちらかと言えばできていない D:できていない	ホームページの活用や、メール、保護者会、学校便り、学年便りの発行など、情報の伝達・公開を適切に行っている。
学力向上・豊かな人間性・健康・体力向上を養う教育活動を行えている	A:できている B:どちらかと言えばできている C:どちらかと言えばできていない D:できていない	ICTを活用したり、児童の学習活動の様子を見たりしながら授業を展開している。リーダー・イン・ミーを軸とした人間性を養う学習が適切に行われている。各種体育行事や、第2江戸取タイム（ロングの休み時間）を設けるなど、体力向上を考えた活動を行っている。今年度は教員研修の充実により、指導改善が図られている。また、探究学習に取り組み、その成果を全校プレゼンテーション大会（EDT）で発表するなどより効果的な学習を展開している。放課後のアフタースクールにおいては、多彩な講座を開き、児童の潜在能力や可能性を引き出せるよう工夫された内容となっており、それぞれの児童の総合的な人間的成長に資するものとなっている。
学校の安全指導や生徒指導は充実したものとなっている	A:できている B:どちらかと言えばできている C:どちらかと言えばできていない D:できていない	危機管理マニュアルの整備、改訂がされており、危機管理に対して組織的に取り組んでいる。計画的に避難訓練を行っている。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携し、面談・相談を通して、個々の児童の状況を理解した上で、生徒指導が学校の組織を挙げて適切に行われている。生徒指導委員会等で情報共有や、組織的な対応策の検討を行い、適切な指導を行えるようにしている。今後、外部専門家による教職員向け研修の充実により、多様な問題に対応できる指導力の向上が期待できる。
校内組織は効果的に運用されている	A:できている B:どちらかと言えばできている C:どちらかと言えばできていない D:できていない	複数名の管理職における連携のもと、ガバナンスの強化につとめている。各部長を中心に、組織を運営するようにつとめている。部長職のリーダーシップ強化等に重点を置くことで、より効率的な組織運営が達成できる。また、定期的な組織評価と改善サイクルの導入により、柔軟で対応力の高い学校運営体制の構築が見込める。
その他意見(上記以外。ある場合)	私立学校としての特色を考え、校長を中心として全教職員による教育活動を展開するための組織づくりを試みようとしていると感じる。そのための、適材適所となる人材育成の充実を図る必要があると思われる。教職員の専門性を活かした校内研修の充実と、中長期的な視点での人材育成計画の策定・実施により、学校の特色をさらに強化する体制づくりが期待できる。また、教職員の自己評価と校長によるフィードバックの仕組みを整備することで、より効果的な人材育成が達成できるだろう。 小中高一貫校の初期段階の教育を担う小学校として位置づけられており、その意味においても重要な役割を担っているが、十分にその役割を果たしうる学校体制となりつつある。	